



バルトロマイ 小ヤコブ アンデレ ユダ ペトロ ヨハネ イエス トマス 大ヤコブ フィリポ マタイ タダイ(ユダ) 熱心党シモン

お手元に配りました横長の絵は、最後の晩餐の時のことを、レオナルド・ダ・ビンチという有名な芸術家が描いたものです。中心にイエス様が立っておられて、左右に六人ずつ、弟子たちが並んでいます。

向かって左側の中心から3人は、特に有名な弟子たちが並んでいるので、知っておられるでしょう。イエス様のすぐ左には、女性のような容貌のヨハネが左に頭を傾けています。そして、そのヨハネに顔を近づけて話しているのが、ペトロだと言われています。そして顔の位置はペトロのすぐ左ですが、席としては、ヨハネの左の位置に居て、ひとりだけ暗い顔をして、右手にはサイフ、左手はパンを取ろうとしているのが、イエス様を裏切った、イスカリオテのユダだと言われています。

この3人のことについては、ヨハネによる福音書第13章21節からの場面を読むとよくわかります。

◆裏切りの予告

21:イエスはこう話し終わると、心を騒がせ、断言された。「はっきり言っておく。あなたがたのうちの一人がわたしを裏切ろうとしている。」22:弟子たちは、だれについて言っておられるのか察しかねて、顔を見合わせた。23:イエスのすぐ隣には、弟子たちの一人で、イエスの愛しておられた者が食事の席に着いていた。24:シモン・ペトロはこの弟子に、だれについて言っておられるのかと尋ねるように合図した。25:その弟子が、イエスの胸もとに寄りかかったまま、「主よ、それはだれのことですか」と言うと、26:イエスは、「わたしがパン切れを浸して与えるのがその人だ」と答えられた。それから、パン切れを浸して取り、イスカリオテのシモンの子ユダにお与えになった。

イエスの愛しておられた弟子というのは、この福音書を書いたヨハネが、自分の名前を出さないで人々に伝える時の表現です。イエス様の向かって左側にヨハネを描いたのは、ダビンチの聖書についての理解からこのようになったのでしょう。シモン・ペトロの疑問や、この後のイスカリオテのユダとイエス様のパンについての行動も予測しての描き方でしょう。

さて、この場面は、「はっきり言っておく。あなたがたのうちの一人がわたしを裏切ろうとしている。」という、イエス様の発言で、弟子たちの間に、驚きの表情が出ているのですが、その中でも、イエス様の右側に座っている人は、自分の両手を広げて、12弟子の中で、一番驚いている表情をしています。これら12人の弟子たちは、それぞれだれであるか、ほぼわかっていて、この両手を広げているのは、ゼベダイの子ヤコブだそうです。

つまり、イエス様の右にはヤコブ、左にはヨハネが座っているのです。

今日の福音書は、ゼベダイの子のヤコブとヨハネが、イエス様に「栄光をお受けになるとき、わたしどもの一人をあなたの右に、もう一人を左に座らせてください。」という、図々しい願いを申し出たことから起こるお話です。考えてみれば、この1ヶ月くらいの福音書の箇所は、自分たちのうちで、だれが一番偉いか、とか、他のグループが、イエス様の名前を使って悪霊を追い出している、とか言って、弟子たちは、周りの者と自分のことを比較して、人の上に立ちたい、という野望が出てきています。

そんな中でも、今日の箇所は、野望を持った弟子たちの思いが、あらわになった箇所だと思います。しかし、この聖書の時代から1500年くらい下った、レオナルド・ダ・ビンチの時代に、12弟子たちを描くのに、ただ、野望を抱いていた二人の気持ちだけを受け取って、イエス様の左右にヤコブとヨハネを配置したとは思えません。彼らの願いは、形を変えて、実現した、ということをおたしたちは教会の歴史を通して学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

というのは、この図々しい願いに対して、イエス様は「あなたがたは、自分が何を願っているのか、分かっていない。」と言われましたが、決して「そんな願いは、止めておきなさい。」と打ち消すようなことは言われていないのです。「分かっていない。」と言われただけで、そのあと「確かに、あなたがたはわたしが飲む杯を飲み、わたしが受ける洗礼を受けることになる。」と予告されているのです。

今日の福音書の話のあとも、ヤコブとヨハネは、何度もイエス様につまずき、失敗を繰り返すのですが、イエス様が天に帰られてからの弟子たちの活動を見ていると、本当にこの人たちの願いは、形を変えて与えられた、と思えるのです。

みなさんは、12月27日が、何の日であるかご存知でしょうか。福音記者使徒聖ヨハネ日です。あのイエス様が愛しておられた弟子ですね。そして、この日は、白い祭色で記念します。他の使徒たちは殉教者としての、赤い色で記念するのですが、このイエス様に愛されたヨハネだけは、天寿を全うして、崇高なヨハネによる福音書を書いたのです。

そのヨハネによる福音書を読んでゆくと、イエス様が十字架にかかる時、ほとんどの弟子たちは、先生を見捨てて、逃げていったのですが、このヨハネだけは、イエス様の母マリアを連れて、十字架のもとにいて、マリアさんの世話をするように、イエス様から頼まれることが書かれています。そんなヨハネだけが、キリスト教迫害の時代に、天寿を全うした、というのも不思議なことです。

それでは、ヤコブの方はどうでしょうか。

イエス様が天に昇られた後の、弟子たちの活動を書き記した、使徒言行録12章に、使徒たちの中で最初に殉教した人のことが語られています。

◆ヤコブの殺害とペトロの投獄

1:そのころ、ヘロデ王は教会のある人々に迫害の手を伸ばし、 2:ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。これは、天寿を全うしたヨハネとは反対に、ヤコブは最初の殉教者になった、ということです。もっとも、12月26日、聖ステパノ日という、使徒言行録7章で最初に殉教したステパノがいますが、12弟子たちの中ではヤコブが最初です。

このヤコブの遺体は、迫害の続くエルサレムに葬ることはできない、ということで、スペイン出身の弟子が、自分たちの故郷へ連れて帰りました。そして、現在は、スペインの西の方の町に葬られました。その町は、サンチャゴ。聖ヤコブという意味です。このサンチャゴが、エルサレム、ローマとともに、カトリック教会の三大巡礼地になって、今も大勢の人が巡礼に行っています。

ですから、ヤコブは、最初の殉教者として記念され、ヨハネは最後まで、長く伝道した使徒として記念されることになりました。

彼らの「栄光をお受けになるとき、わたしどもの一人をあなたの右に、もう一人を左に座らせてください。」という願いは、形を変えて、実現した、と言えるのではないのでしょうか。

だから、自分勝手な祈りも、祈り続け、願い続けるうちに、よりよいものに変えられてゆく、ということを考えたいのです。

皆さんも、聞かれたことがあると思いますが、アメリカが南北戦争を戦った時、無名の南軍戦士が、このような詩を作っています。

悩める人々への銘（注：銘とは、いつもそばにおいておく戒めのことば。『座右の銘』など）

A CREED FOR THOSE WHO HAVE SUFFERED

『悩める人々への銘』

I asked God for strength, that I might achieve
I was made weak, that I might learn humbly to obey...

大きなことを成し遂げる為に 強さを与えて欲しいと 神に求めたのに
謙遜を学ぶように 弱さを授かった

I asked for health, that I might do greater things
I was given infirmity, that I might do better things...

偉大なことができるようにと 健康を求めたのに
よりよきことをするようにと 病気を賜った

I asked for riches, that I might be happy
I was given poverty, that I might be wise...

幸せになろうとして 富を求めたのに
賢明であるようにと 貧困を授かった

I asked for power, that I might have the praise of men
I was given weakness, that I might feel the need of God...

世の人々の賞賛を得ようとして 力と成功を求めたのに
得意にならないようにと 失敗を授かった

I asked for all things, that I might enjoy life
I was given life, that I might enjoy all things...

人生を楽しむために あらゆるものを求めたのに
あらゆるものを慈しむために 人生を賜った

I got nothing that I asked for—but everything
I had hoped for
Almost despite myself, my unspoken prayers were answered.
I am among all men, most richly blessed !

求めたものは一つとして 与えられなかったが 願いはすべて聞き届けられた
私はもっとも豊かに祝福されたのだ

AUTHOR UNKNOWN
(作者不詳)

わたしたちの自分勝手な願いが、神様によって、整えられてゆく、と信じて歩みたいと思います。
皆さんは、祈祷書の中にある特定6のお祈りがそのことを語っているのを感じられたことがあるのでは
ないでしょうか。

最後に今日は特定6の祈りをします。

『あなたを愛する者のために、人の思いに過ぎた良い賜物を備えてくださる神よ、どうかわたしたちに
何よりもあなたを愛する心を得させ、わたしたちの望みうるすべてにまさる約束のものを与えてくださ
い。主イエス・キリストによってお願いいたします。